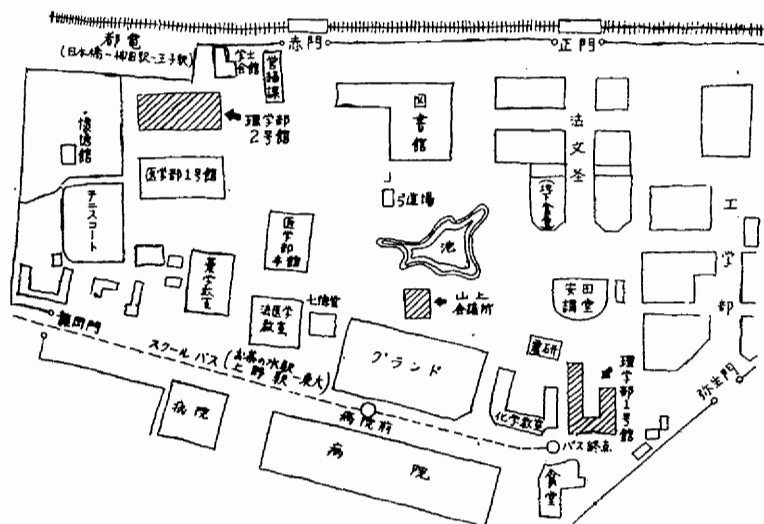


日本天文学会 1957 年春季年会 プログラム

◇日時 4 月 26 日 (金), 27 日 (土), 28 日 (日)
◇場所 東京大学 (本郷) および国立科学博物館 (上野)

	午 前 (9 時より)	午 後 (1 時半より)	夜 (5 時より)
26 日	研究発表 (理学部 2 号館)	研究発表 (理学部 2 号館)	懇親会 (山上会議所)
27 日	研究発表及総会 (理学部 2 号館)	研究発表 (理学部 2 号館)	シンポジウム (理学部 1 号館*)
28 日		公開講演 (科学博物館)	

* 位置天文学シンポジウム 1 号館 110 号室
天体物理学シンポジウム 1 号館 174 号室



第 1 日 4 月 26 日 (金)

〔午前〕 (9 時より)

	分
1. 伊藤精二：日本天文研究会々員による 1956 年の掩蔽観測……………	5
2. 飯島重孝, 大城義名 (東京天文台)：WWVH 波のドップラー受信 ……	7
3. 飯島重孝, 岡崎清市, 加藤亀三郎 (東京天文台)：地殻潮汐の 時刻観測に及ぼす影響……………	7
4. 角田忠一 (緯度観測所)：報時受信波形の電離層反射による影響……………	10
5. 安田春雄 (東京天文台)：三鷹天頂帯恒星の赤経 (II)……………	5
6. 虎尾正久 (")：天頂星々系について……………	5
7. 坪川家恒, 植原 毅, 北郷俊郎 (地理調査所)：ETD による 定高度観測について……………	10
8. 坪川家恒, 原田健久, 辻昭治郎 (")：ETD 付子午儀による 天文学的経緯度と方位角の決定について……………	10
9. 村上忠敬, 荒木宏司 (広島大学)：獅子座流星群流星体の 分布構造について……………	10
10. 堀源一郎 (東大理)：木星第九衛星の運動 (II)……………	7
11. 関口直甫 (東京天文台)：地球の始原自転速度について……………	5

〔午後〕 (1 時半より)

12. 弓 滋 (緯度観測所)：緯度の日変化……………	7
13. 高木重次 (")：水沢における経度変化 (I)……………	10
14. " (")：水沢の時刻観測から求められた 二三の結果について……………	10
15. 服部忠彦 (")：水沢の緯度観測から求めた章動常数……………	5
16. 池田徹郎, 須川力 (")：南半球の Z 項 (I)……………	10
17. 江本祐治：高速度星の運動について……………	7
18. 菊池定衛門 (東大理)：恒星のケプラー運動軌道要素の分布について……………	10
19. 鍋木政岐 (東大理)：銀河回転と歳差常数 (III)……………	5
20. 高瀬文志郎 (東京天文台)：アンドロメダ星雲の質量光度比分布 (II)……………	10
21. 成相秀一, 上野義夫 (広島大理理論物理研)：マッハ原理と相対論……………	10
22. 荒木俊馬 (京大理)：負の質量について……………	10

〔夜〕 (5 時半より)

懇 親 会

評 議 員 会：26 日正午より，赤門前白十字にて，評議員の方はもれなく御参集下さい。

新旧合同理事会：27 日正午より，赤門前白十字にて，新旧理事，支部理事の方は全員御参集下さい。

第 2 日 4 月 27 日 (土)

〔午前〕(9時より)

23. 斎藤国治, 田中幸明 (東京天文台): 極域白斑群の特性	7
24. 斎藤国治 (東京天文台): 極小型コロナの特性	7
25. 辻村民之, 高橋 敏 (生駒山太陽観測所): フレーアの光度曲線ほか 二三の問題	7
26. 堀井政三, 山崎恭弘 () : CaII 羊斑の分類とコロナ温度との関係	10
27. 牧田 貢 (東大理): 磁場の対流禁止効果	7
28. 川口市郎 (京大理): 彩層における紫外輻射場について	7
29. 赤羽賢司 (東京天文台): 地球観測年用 9000 Mc 太陽電波受信装置	5
30. 鈴木重雅 (東京天文台): 位相切換式多相電波干渉計について	5
31. 鈴木重雅 (東京天文台), 森本雅樹 (東大理): 位相切換式多相電波 干渉計による観測結果について	5
32. 柿沼正二, 豊田耕一 (京大理): フレーアとラジオアウトパースト	7
33. 高倉達雄 (東京天文台): ノイズストームの波形の低周波スペクトル	10
34. 河崎公昭 (東京天文台), 近藤一郎, 村上一昭 (科研): 宇宙線 異常増加について	7

通常総会 (午前の発表に引続き開催, 順序は次頁参照)

〔午後〕(1時半より)

35. 高窪啓弥, 佐藤直宜 (東北大理): 仙台における光電測光装置について	7
36. 北村正利 (東京天文台): 小惑星の色の測光について	10
37. 宮本正太郎 (京大理): 火星大気温度と水蒸気について	7
38. 川畑周作 (京大理): α Herculis の大気について	5
39. 斎藤澄三郎 () : O 型星のモデル大気 (II)	5
40. 近藤雅之 (東大理): 弱い吸収線をもつ二つの星のスペクトル	7
41. 藤田良雄, 山下泰正, 西村史朗 (東大理): 数個の低温度星の スペクトルについて	10
42. 上野季夫 (京大理): 確率論的方法による輸送方程式の解について (II)	7
43. 高窪啓弥 (東北大理): 南天銀河の偏光	7
44. 大崎 徹, 矢田文太 (京大理): III 領域を伴う 銀河星雲の輻射場について	10
45. 一柳寿一, 須田和男 (東北大理): 等温核と対流平衡の 中間層を有する星のモデル (II)	10

〔夜〕(5時半より)

シンポジウム

位置天文学	天文時の精密国際比較	飯島 重孝 (東京天文台)
	基準座標系の力学的考察	青木 信仰 (東大理学部)
天体物理学	高温度星の研究	大沢 清輝 (東京天文台)
		斎藤澄三郎 (京大理学部)
		大木 俊夫 (東北大理学部)

第 3 日 4 月 28 日 (日)

公開講演 (午後 1 時半より, 科学博物館後援)

- ◇ 極光と夜光 ……………東京天文台 古畑正秋氏
- ◇ 74 インチ望遠鏡の誕生 ……………東大理学部 藤田良雄氏

通常総会順序

- ◇開 会
- ◇昭和 31 年度会務報告の件
- ◇昭和 31 年度会計報告の件
- ◇定款変更の件
 - ① 第 5 条 本会の発行物の中 (日本天文学会要報) を削除.
 - ② 第 15 条 通常会員入会規定の中 (会員 1 名の紹介を以つて) を削除.
 - ③ 第 15 条 特別会員入会規定の中 (会員 2 名の紹介) を (特別会員 2 名) に改める.
 - ④ 第 18 条 理事定員の中 (理事 6 名以内) を (理事 12 名以内) に, (支部理事 15 名以内) を (支部理事 20 名以内) に改める.
 - ⑤ 第 30 条 評議員会開催規定の中 (定期に毎年春秋 2 回之を開いて) を (毎年 1 回春季に之を開いて) に改める.
- ◇理事長副理事長改選の件
去る 3 月 25 日開催された評議員会において, 後任の理事長として野附誠夫君, 副理事長として中野三郎君, 一柳寿一君が推薦されております.
- ◇新理事長挨拶および新理事の指名
- ◇本会功労賞 (仮称) 贈呈の件
昭和 31 年 1 月 2 日および 12 月 29 日の 2 回にわたり, 周期彗星の回帰を世界で最初に発見した富田弘一郎君に対し, 定款第 6 条の規定により, 記念品を贈呈して表彰したいと, 評議員会で議決されました.
- ◇その他
- ◇閉 会

会場交通案内

東 京 大 学

- ◇国電お茶の水駅または上野駅より東大構内行スクールバスで病院前または終点下車.
- ◇お茶の水駅より志村橋行または荒川土手行バスで赤門前または正門前
- ◇都電日本橋—神田駅—王子駅線で赤門前または正門前.
- ◇都電厩橋—御徒町駅—早稲田線又は錦糸堀—御徒町駅—大塚駅線で春木町.
- ◇地下鉄丸の内線で本郷三丁目.

科学博物館

国電上野駅公園口より下車, 線路ぞいに北へ約 2 丁. なお表玄関から入ると料金がいらすから, 事務館入口 (学士院側) からお入り下さい.